

令和6年度 前期 学校評価アンケート（分析及び対策）No.1

校の教育目標(重点的取組)	各項目		めざす姿	NO	対象	質問項目	R5前期	前期	1年	2年	3年
Ⅰ「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた、主体的・対話的で深い学びの実現	個別最適な学び		一人一人が学習進度や能力、関心等に応じて、学習を進めていくことができる	1	教職員	生徒が目的を持ち、学習に取り組めるよう個に応じた指導を行っている	91%	95%			
					生徒	得意分野や好きな学習内容を発見し、自信につながるような学習をしている	93%	95%	94%	93%	99%
					保護者	お子さんは、学習する目標を持って取り組んでいる	85%	85%	85%	82%	87%
				2	教職員	生徒は試験などに向けて、計画を立てながら取り組めている	100%	95%			
					生徒	試験に向けて、目的に合った計画を立てながら実践している	86%	86%	85%	88%	84%
					保護者	お子さんは、計画的に学習に取り組めている	72%	66%	66%	64%	69%
				3	教職員	つまづきや困りを克服するための適切な支援を行っている	86%	86%			
					生徒	授業でわからないところを、調べたり質問したりして、そのままにしないようにしている	91%	88%	86%	84%	95%
					保護者	お子さんは、学習でつまづきのあるところを、自分に合った方法で解決しようとしている	81%	74%	75%	72%	75%
				4	教職員	授業では「めあて・振り返り」、「課題・まとめ」を提示し、指導と評価の一体化を図っている	91%	86%			
					生徒	授業の振り返りでは、「めあて」が達成できたかを振り返り、次の学習につなげようとしている	90%	92%	96%	91%	90%
				5	教職員	生徒の主体性な学びを促す「問い」を持たせる工夫をしている	95%	95%			
					生徒	授業では、解決したい課題を見つけ、解決に向け、見通しを持ち学習している	91%	92%	90%	92%	94%
	協働的な学び		多様な人々と協働しながら、よりよい学びを生み出すことができる	6	教職員	生徒同士の異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出すよう工夫している	100%	95%			
					生徒	授業の交流する場面では、自分の考えを伝え、仲間の話を参考にするなどして、自分の考えを深めるようにしている	97%	97%	95%	96%	99%
					保護者	お子さんは、他者の話を聞き、自分の考えに生かすことができている	87%	86%	86%	84%	88%
				7	教職員	生徒の主体性や協調性を育むため、多様な人々と協働する機会を設定している	95%	91%			
					生徒	授業や学校行事等で多様な人々と協働することを通して、主体性や協調性が身についてきた	95%	96%	94%	95%	100%
					保護者	お子さんは、主体性や協調性が身についてきた	92%	91%	91%	91%	91%
	ICTの活用		ICT端末等を効果的に活用することができる	8	教職員	授業において、ICT端末等を活用する機会を積極的に設けている	95%	91%			
					生徒	ICT端末等を積極的に活用して学習などに取り組んでいる	96%	95%	95%	93%	98%
					保護者	お子さんは、ICT端末等を積極的に活用して学習などに取り組んでいる	87%	87%	79%	88%	93%
				9	教職員	生徒は、ICT端末を正しく使っている	77%	86%			
					生徒	ICT端末を正しく使っている	99%	99%	99%	98%	100%
					保護者	お子さんは、ICT端末を正しく使っている	92%	93%	93%	94%	92%

【分析及び対策】

生徒の回答は、おおむね90%を超えており、日々の学習活動がよい効果を発揮していることがうかがえる。ただ、Q2、Q3については学年に応じた対策が必要である。Q2については、全学年で80%台に留まっている。定期テストに向けて、うまく計画が立てられなかったことが要因であると考えられるため、今後のテストに向けた準備の仕方を指導していく必要がある。また、生徒と保護者の数値に差があるものが気になる。学習の様子が、中学生になり見えづらくなっていくことも考えられるため、手帳の共有など、学習の様子を保護者に伝える場を大事にしたい。また、1、2年生については、Q3が低くなっている。学習内容も難しさが授業スピードの速さによって、わからないところをそのままにして進んでいる可能性が高い。個々の学習状況の見取ることが必要である。

令和6年度 前期 学校評価アンケート（分析及び対策）No.2

校の教育目標(重点的取組)	各項目	めざす姿	NO	対象	質問項目	R5前期	前期	1年	2年	3年
Ⅱ 自主的・主体的・創造的な取り組みを引き出す生徒会活動等，魅力的な教育活動の展開	生徒会活動	自ら生徒会活動・学級活動等に取り組むことができる	10	教職員	生徒に学校の教育目標達成のため，「6期ステップ」（各期）の目標を意識して取り組ませている	82%	91%			
				教職員	生徒は，「6期ステップ」を意識して取り組めている	77%	77%			
				生徒	学校の教育目標達成のため，「6期ステップ」の目標を意識して取り組めている	88%	90%	87%	90%	93%
			11	教職員	生徒は，生徒会，委員会，クラスの係活動に積極的に取り組んでいる	95%	91%			
				生徒	生徒会，委員会，クラスの係活動にリーダーシップやフォロワーシップを発揮して活動している	84%	84%	82%	83%	87%
				保護者	お子さんは，生徒会，委員会，クラスの係活動に自主的に取り組んでいる	85%	95%	87%	81%	89%
			12	教職員	生徒は，学校行事（体育大会，青垣祭等）に積極的に取り組んでいる	100%	100%			
				生徒	学校行事（体育大会，青垣祭等）に積極的に取り組んでいる	96%	97%	95%	98%	97%
				保護者	お子さんは，学校行事（体育大会，青垣祭等）に積極的に取り組んでいる	94%	95%	96%	93%	95%
	総合的な学習の時間	自ら課題を見付け，自己の生き方を考えることができる	13	教職員	総合的な学習の時間では，生徒に課題を設定する場を設けている	86%	82%			
				生徒	総合的な学習の時間では，自分たちの取り組む課題を設定しながら学習に取り組んでいる	95%	96%	96%	96%	96%
			14	教職員	調べたことを資料や文章にまとめさせ，発表内容の組み立てを工夫するように促している	95%	100%			
				生徒	自分たちの調べたことを，資料や文章，話の組み立てなどを工夫しながら発表できた	91%	93%	90%	93%	97%
			15	教職員	総合的な学習の時間では，本物に触れる機会を意識した単元計画をもとに指導している	95%	91%			
				生徒	総合的な学習の時間での活動や学びは，将来の自分のためになっていると感じている	92%	91%	93%	90%	91%
【分析及び対策】										
10の項では教職員は生徒に6期ステップに各期の目標を意識して取り組ませているの数値は昨年度よりも高くなっているが，実際に生徒が取り組めている数値は昨年並みとなっている。生徒が主体的に取り組めるようにそれぞれの学年で事態に応じた手立てを考えていく必要がある。生徒も教職員も期ごとに振り返りを行っているので，そのような取り組みも共有できる場を持っていきたい。11・12の項は教職員の数値よりも，生徒・保護者の数値が低くなっている傾向がある。リーダーのみならずフォロワーの言葉も意識させるとともに，学校行事や生徒会活動も通信等を通して生徒の活躍の場をもっと発信していく。13・15の項では教職員の数値が，昨年度よりも若干低くなっている。特に13の項は生徒の数値は高いので，教職員が単元を通してどのような力を身につけていくのか計画的に取り組んでいくことが求められる。15の項は生徒の数値が学年が高くなるにつれて下がっているなので，本物に触れる機会や体験的な学びを通して成就感や自己有用感をもたせるように指導の改善を図っていく。14の項はどの学年も単元の終末には発表で終わる形式が多いため，生徒もこのような活動に慣れていることがうかがえる。特に3年生は自己の生き方の追及について卒業レポートをまとめる機会があるので，3年間のゴールを意識して取り組ませていきたい。										

令和6年度 前期 学校評価アンケート（分析及び対策）No.3

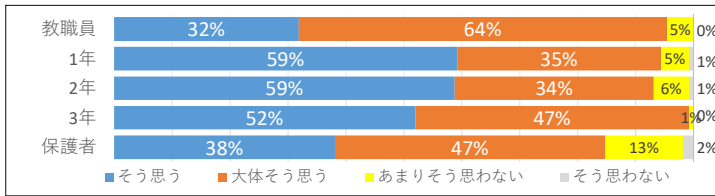
校の教育目標(重点的取組)	各項目	めざす姿	N0	対象	質問項目	R5前期	前期	1年	2年	3年
Ⅲ 心と命を守る 日々の教育活動の充 実と組織的な推進	生活指導	基本的生活習慣を 身につけ、自ら考 えて行動すること ができる	16	教職員	生徒は、規則正しい生活を送ることができている	86%	77%			
				生徒	規則正しい生活を送ることができている	77%	78%	82%	76%	77%
				保護者	お子さんは、規則正しい生活を送ることができている	82%	80%	84%	78%	79%
			17	教職員	生徒は、あいさつすることができている	82%	95%			
				生徒	自分からあいさつすることができている	96%	95%	93%	96%	96%
				保護者	お子さんは、自分からあいさつすることができている	87%	87%	86%	90%	86%
			18	教職員	生徒は、時間いっぱい清掃に取り組んでいる	91%	91%			
				生徒	自分から時間いっぱい清掃に取り組んでいる	97%	98%	97%	98%	100%
			心と命の教育	自分も他の人も大 切にし、仲間同士 で支え合うことが できる	19	教職員	生徒は、自尊感情が高いと思う	73%	64%	
	生徒	自分にはよいところがあると思う				77%	86%	87%	82%	89%
	保護者	お子さんの自尊感情は高い方だと思う				82%	83%	87%	80%	81%
	20	教職員			生徒の悩みや相談に親身に応じている	95%	95%			
		生徒			先生は、あなたの悩みや相談に親身に応じてくれる	91%	92%	90%	91%	96%
		保護者			先生は、お子さんの悩みや相談に親身に応じてくれる	92%	90%	87%	89%	95%
	21	教職員			学級は、他の人の思いや考えを尊重する雰囲気になっている	95%	86%			
		生徒			学級は、他の人の思いや考えを尊重する雰囲気になっている	94%	92%	84%	95%	97%
		保護者			お子さんの学級は、生徒の思いや考えを尊重する雰囲気がある	94%	94%	90%	94%	97%
	22	教職員			いじめのない学校・学年・学級づくりができている	100%	91%			
		生徒			いじめのない学校・学年・学級づくりができていると感じる	93%	87%	82%	90%	90%
		保護者			いじめのない学校・学年・学級づくりができていると感じる	95%	94%	90%	96%	96%
	23	生徒			授業以外で部活動や家庭等での体力づくりができている	75%	78%	81%	79%	74%
		保護者			お子さんは部活動や家庭等で体力づくりをしている	74%	76%	77%	80%	70%

【分析及び対策】

16の項では教職員77%、生徒78%と例年よりズレがなくなっている。これは、日頃の手帳のみとりや生徒とのかかわりの中で教職員が実態把握に努めている成果だといえる。例年同様に3年生が受験に向けて勉強時間が増えてきているためか数値が低くなる傾向にある。2年生の数値が低くなっているのが心配である。気になる生徒への声掛けが必要だと考えられる。17の項は教員の数値に改善がみられる。昨年度四校園で提案をした「はじめのあいさつ」が指針となり共通認識ができるようになってきている。ただ、生徒による個人差など是大きいと感じるので18の項と合わせて、活動の意義や必要性について生徒会を通じて全校生徒に考えさせる必要がある。19については教員の値と生徒で22ポイントと大きく開きがでている。今年度も人間関係プログラムやSSTを実施し、生徒にとっては一定の効果があると考えられるが、この取組も3年目となり、形骸化している部分があるのではないかと思う。また教職員への研修の必要性を感じている。20の項では昨年同様高い数値になっている。それに応じて保護者の数値も高くなっていることから教職員のアプローチが保護者にも理解されていることが伺える。今後も積極的に生徒理解をする必要がある。21、22の項は教員、生徒ともに昨年よりも数値が下がっている。学級によっては気になる数値のところもある。日常の中で生徒の様子をよく観察し、自分勝手な行動やいじめは絶対に許さないという毅然とした態度で対応する必要がある。また、道德の授業や休憩時間などを有効に使い、安全・安心な風土の醸成をしていく必要がある。いじめアンケートなどの記述にも注視し、場合によっては学年部の別の教員が説諭するなどの対応をする必要も考えられる。23の項は例年数値が低い傾向にあり、本校の課題である。

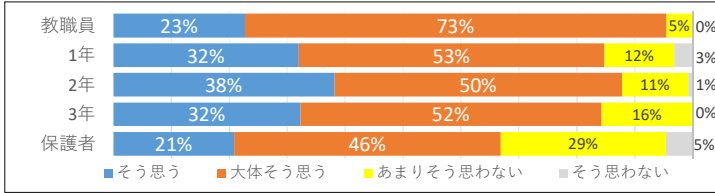
令和6年度 学校評価アンケート【前期】教職員・全体比較

I「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた、主体的・対話的で深い学びの実現



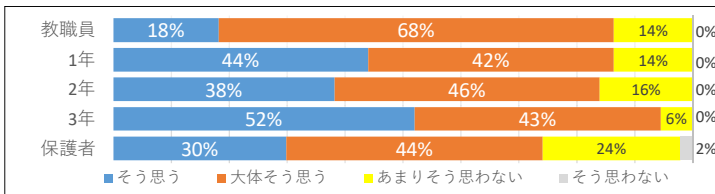
I_1

教職員 生徒が目的を持ち、学習に取り組めるよう個に応じた指導を行っている
 生徒 得意分野や好きな学習内容を発見し、自信につながるような学習をしている。
 保護者 お子さんは、学習する目標を持って取り組んでいる



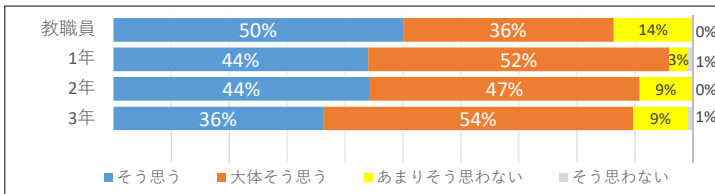
I_2

教職員 生徒は試験などに向けて、計画を立てながら取り組んでいる
 生徒 試験に向けて、目標に合った計画を立てながら実践している
 保護者 お子さんは、計画的に学習に取り組んでいる



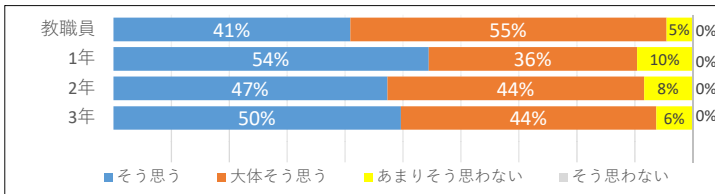
I_3

教職員 つまずきや困りを克服するための適切な支援を行っている
 生徒 授業でわからないところを、調べたり質問したりして、そのままにしないようにしている
 保護者 お子さんは、学習でのつまずきを、自分に合った方法で解決しようとしている



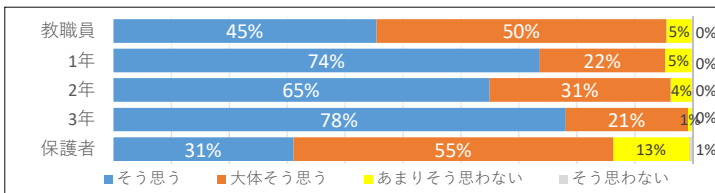
I_4

教職員 授業では「めあて・振り返り」、「課題・まとめ」を提示し、指導と評価の一体化を図っている
 生徒 授業の振り返りでは、「めあて」が達成できたかを振り返り、次の学習につなげようとしている



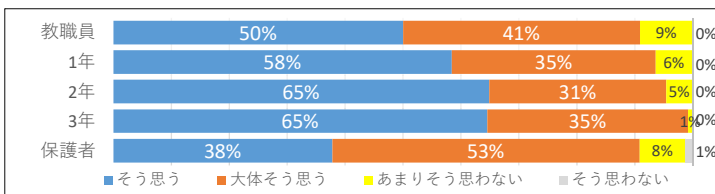
I_5

教職員 生徒の主体的な学びを促す「問い」を持たせる工夫をしている
 生徒 授業では、解決したい課題を見つけ、解決に向け、見通しを持ち学習している



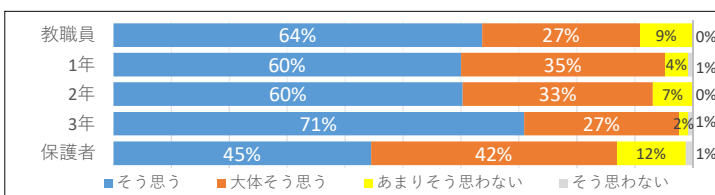
I_6

教職員 生徒同士の異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出すよう工夫している
 生徒 授業の交流する場面では、自分の意見を伝え、仲間の話を参考にするなどして、自分の考えを深めるようにしている
 保護者 お子さんは、他者の話を聞き、自分の考えに生かすことができている



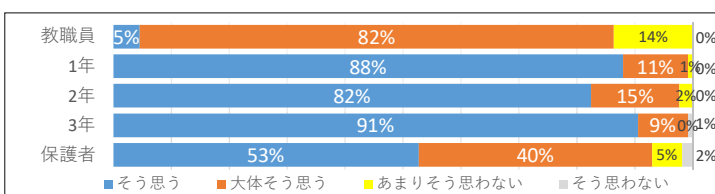
I_7

教職員 生徒の主体性や協調性を育むため、多様な人々と協働する機会を設定している
 生徒 授業や学校行事等で多様な人々と協働することを通して、主体性や協調性が身についてきた
 保護者 お子さんには、主体性や協調性が身についてきた



I_8

教職員 授業において、ICT端末等を活用する機会を積極的に設けている
 生徒 ICT端末等を積極的に活用して学習などに取り組んでいる
 保護者 お子さんは、ICT端末等を積極的に活用して学習などに取り組んでいる

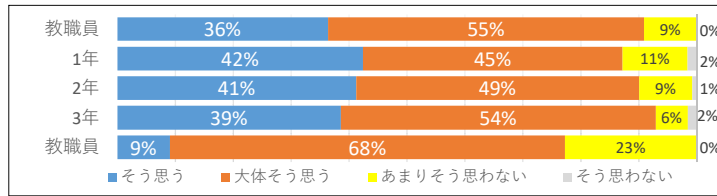


I_9

教職員 生徒は、ICT端末を正しく使っている
 生徒 ICT端末を正しく使っている
 保護者 お子さんは、ICT端末を正しく使っている

令和6年度 学校評価アンケート【前期】教職員・全体比較

Ⅱ 自主的・主体的・創造的な取り組みを引き出す生徒会活動等、魅力的な教育活動の展開

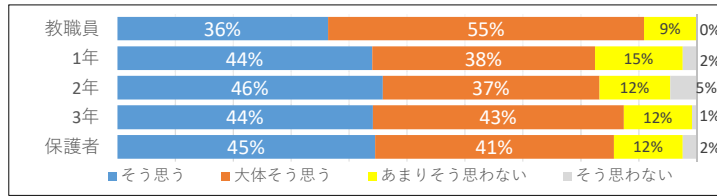


Ⅱ_1

教職員 生徒に学校教育目標達成のため、「6期ステップ」(各期)の目標を意識して取り組ませている

生徒 学校教育目標達成のため、「6期ステップ」の目標を意識して取り組んでいる

教職員 生徒は、「6期ステップ」を意識した取り組んでいる

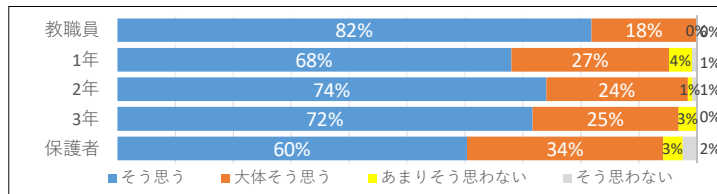


Ⅱ_2

教職員 生徒は、生徒会、委員会、クラスの係活動に積極的に取り組んでいる

生徒 生徒会、委員会、クラスの係活動にリーダーシップやフォロワーシップを発揮して活動している

保護者 お子さんは、生徒会、委員会、クラスの係活動に自主的に取り組んでいる

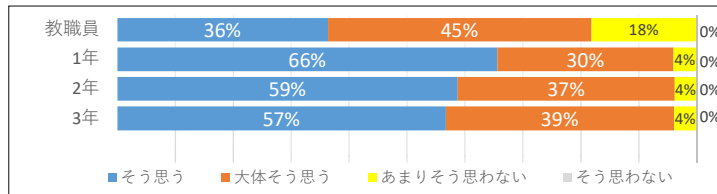


Ⅱ_3

教職員 生徒は、学校行事(体育大会、青垣祭等)に積極的に取り組んでいる

生徒 学校行事(体育大会、青垣祭等)に積極的に取り組んでいる

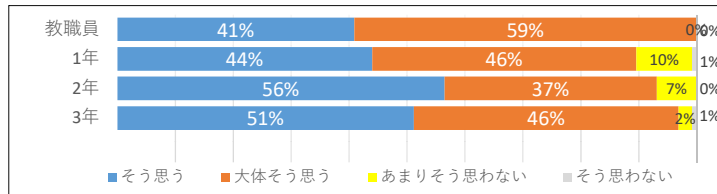
保護者 お子さんは、学校行事(体育大会、青垣祭等)に積極的に取り組んでいる



Ⅱ_4

教職員 総合的な学習の時間では、生徒が課題を設定する場を設けている

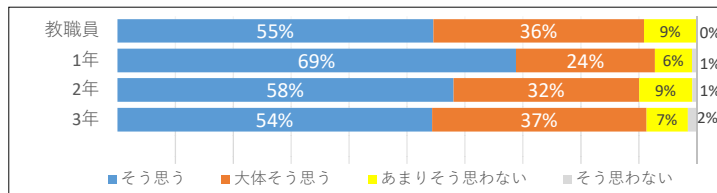
生徒 総合的な学習の時間では、自分たちの取り組む課題を設定しながら学習に取り組んでいる。



Ⅱ_5

教職員 調べたことを資料や文章にまとめさせ、発表内容の組み立てを工夫するよう促している

生徒 自分たちの調べたことを、資料や文章、話の組み立てなどを工夫しながら発表できた



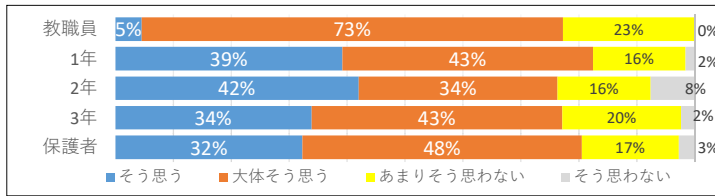
Ⅱ_6

教職員 総合的な学習の時間では、本物に触れる機会を意識した単元計画をもとに指導している

生徒 総合的な学習の時間での活動や学びは、将来の自分のためになっていると感じている

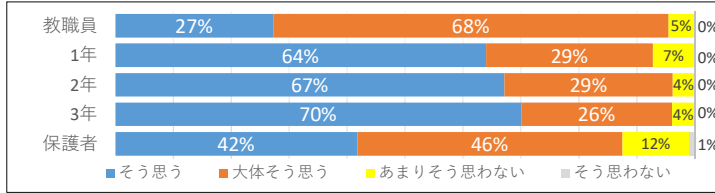
令和6年度 学校評価アンケート【前期】教職員・全体比較

Ⅲ 心と命を守る日々の教育活動の充実と組織的な推進



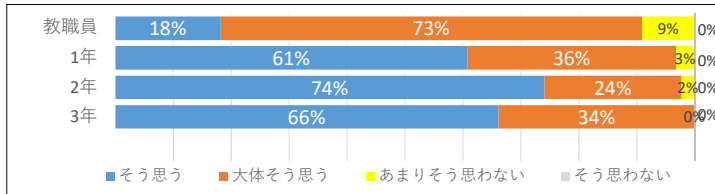
Ⅲ_1

教職員 生徒は、規則正しい生活を送ることができている
 生徒 規則正しい生活を送ることができている
 保護者 お子さんは、規則正しい生活を送ることができている



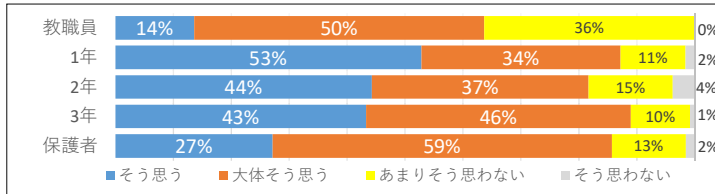
Ⅲ_2

教職員 生徒は、あいさつすることができている
 生徒 自分からあいさつすることができている
 保護者 お子さんは、自分からあいさつすることができている



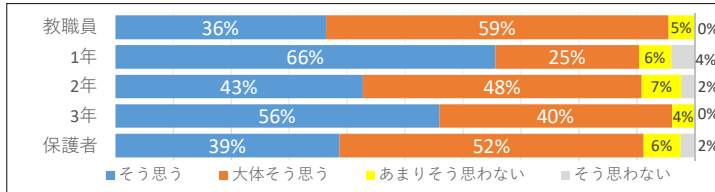
Ⅲ_3

教職員 生徒は、時間いっぱい清掃に取り組んでいる
 生徒 自分から時間いっぱい清掃に取り組んでいる



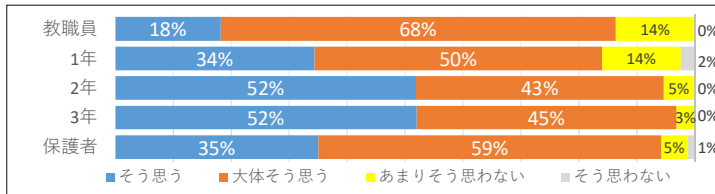
Ⅲ_4

教職員 生徒は、自尊心が高いと思う
 生徒 自分にはよいところがあると思う
 保護者 お子さんの自尊心は高い方だと思う



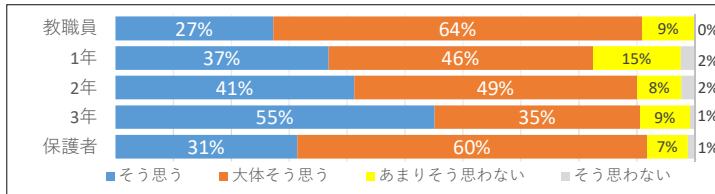
Ⅲ_5

教職員 生徒の悩みや相談に親身に応じている
 生徒 先生は、あなたの悩みや相談に親身に応じてくれる
 保護者 先生は、お子さんの悩みや相談に親身に応じてくれる



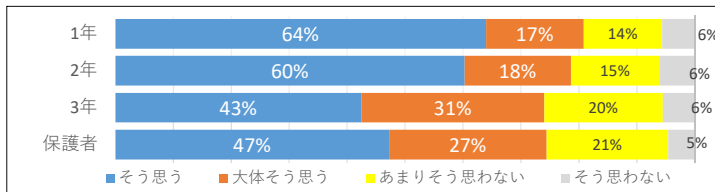
Ⅲ_6

教職員 学級は、他の人の思いや考えを尊重する雰囲気になっている
 生徒 学級は、他の人の思いや考えを尊重する雰囲気になっている
 保護者 お子さんの学級は、生徒の思いや考えを尊重する雰囲気がある



Ⅲ_7

教職員 いじめのない学校・学年・学級づくりができている
 生徒 いじめのない学校・学年・学級づくりができていると感じる
 保護者 いじめのない学校・学年・学級づくりができていると感じる



Ⅲ_8

保護者 お子さんは部活動や家庭等で体力づくりをしている
 生徒 授業以外で部活動や家庭等での体力づくりができている